

6. 千葉県あんしんケアセンターこてはし台

地域包括ケアシステムの構築

地域のニーズに応じた重点的業務

関係機関及び関係者とのネットワーク構築

介護支援専門員に対する支援・指導

市との連携

公正・中立性の確保

あんしんケアセンターの周知活動

包括三職種	平成27年度
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	2名
保健師等	1名

平成27年度あんしんケアセンターこてはし台事業計画

担当圏域地区課題		高齢化率が高い地域が多く認知症等支援が必要な高齢者が潜在していると思われる。	
活動方針（総合）		認知症や状態低下等支援を必要とする高齢者を早期発見し支援を行う。その為に関係機関の他民生委員や町内自治会、ボランティア、社会福祉協議会等とのネットワークの強化を図っていく。	
運営方針		具体的な取り組み計画	
1	地域包括ケアシステムの構築	(1)在宅医療・介護連携の推進	医療機関等との交流会、研修会に参加、また企画をし顔の見える関係を作っていく。 多職種連携会議を実施し参加者の幅を広げ連携体制を強化していく。
		(2)認知症施策の推進	民生委員、町内自治会、老人クラブ、ボランティア、介護サービス事業所等に広報誌を配布する等連携を図り、認知症や状態低下等支援が必要な高齢者の早期発見に努める。地域住民の認知症に関する理解を深めるために自治会等で認知症サポーター養成講座等を開催していく。
		(3)生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進	地域の特性、社会資源を把握し地域のネットワーク作りに努める。一般高齢者の介護予防事業として市で推進する「百歳体操」等の教室を自治会等で開催する。集会所等を把握し活動の拠点場所を作り、保健福祉センター等と連携し自主的な活動の支援をしていく。
2	地域のニーズに応じた重点的業務	地域の高齢者の把握及び適切な支援	今までの二次予防対象者名簿を活用し電話・訪問等で状況を把握し必要な支援を行う。また様々な活動の関わりの中で民生委員、町内自治会、老人クラブ、ボランティア、社会福祉協議会、介護サービス事業者等より地域の情報を得、支援が必要な高齢者の早期発見に努める。
3	関係機関及び関係者とのネットワーク構築		定期的な会議や日常の関わり等で保健福祉センター等関係機関の連携を深めていく。地域の様々な催し等に積極的に参加し民生委員、町内自治会、老人クラブ、ボランティア、社会福祉協議会等との連携を図っていく。医療機関等との交流会等の機会を作りネットワークを構築していく。
4	介護支援専門員に対する支援・指導		ケアマネの抱える困難ケース等に同行訪問を行う等や必要に応じ関係機関と連携を図りながら対応していく。関係機関や医療機関等と連携しやすい環境を整えて行く為に交流会等の機会を作っていく。「主任ケアマネの会」と「ケアマネの集い」を継続し研修や事例検討会等企画しスキルアップを図っていく。
5	市との連携		管理者会議、職種別の会議に参加、意見交換を行い現状の課題等共有できるようにしていく。保健福祉センター等関係機関との連携を図る為に必要な協力を仰いでいく。
6	公正・中立性の確保		高齢者に提供されるサービスが特定の事業所に偏る事の無いよう、公正中立を確保する。運営費用が公費によって賄われている事を理解し適切な事業運営を行う。
7	あんしんケアセンターの周知活動		地域の様々な催し等に参加する等であんしんケアセンターの周知活動を行っていく。その際民生委員、町内自治会、老人クラブ、ボランティア、社会福祉協議会等との連携を図り協力を得ていく。その他地域の薬局やコンビニ等にも冊子を置いてもらう等協力を仰いでいく。